

まちかど アルバム



県民文化会館

日韓産学官の連携について意見交換

2月17日(金)、県民文化会館で「日韓産学官連携交流フォーラム」が開催され、約250人の参加者が集まる中、地域活性化について産学官が果たす役割が議論されました。フォーラムでは、日本政策投資銀行の丹野光明設備投資研究所長が日韓双方の産学官の現状について基調講演を行った後、鳥取市と清州市の商工会議所、大学、行政のトップがそれぞれの産学官連携の具体例についてパネルディスカッションを行い、本市からは因州和紙を使ったインテリアや鳥インフルエンザなどに有効な抗ウイルスマスクの開発などが紹介されました。

因幡万葉歴史館

万葉草木染の自然な風合いに感動

2月19日から3月12日にかけて、因幡万葉歴史館で「万葉草木染作品展」が開催されました。これは、万葉の文化について体験してもらおうと、毎年夏休みに小学生を対象に実施している体験講座の作品を展示したものです。今回は、小学生が作った玉ねぎ染めのハンカチや藍染のコースターなど22点と、指導にあたった「万葉西会」のみなさんのテーブルセンターやハンカチなど24点が展示されました。訪れた人たちは、素朴ながらも斬新なデザインの作品を見て、「ぜひ草木染に挑戦したい」と話していました。



鹿野小学校

「ママチャリ」こいで体づくり

3月4日(土)、鹿野小学校で「ぐるぐるママチャリ耐久レース」が行われ、家族や職場、同級生などでチームを組んだ30人が参加し、春の日差しを浴びながら熱戦を繰り広げました。このレースは、日頃の運動不足解消と体力向上を目指して地元の「鹿の助スポーツクラブ」が主催したもので、3人1組でチームを組み、全長約1kmのコースを30分間で何周できるかを競うものです。参加者は「最後はバテてしまってサイクリングになってしまいました。日頃の運動が大切ですね。自分の体力を知りたい機会になりました」と心地よい汗を流しながら話していました。

気高町酒津

お手柄市民に消防表彰

春の全国火災予防運動期間中の3月2日(木)、住宅火災の初期消火にあたった市民が気高消防署から表彰されました。橋本寿美恵さん、谷本恵子さん、辰己チャーリーさん、山根典章さんの4人は、1月に気高町酒津で発生した住宅火災で初期消火にあたり、人命救助に貢献されました。同地区は木造住宅が密集しており、火災が発生した場合、被害が拡大する恐れがあります。このたびの4人の行動は「未然に被害をくい止めた的確な消火活動」、「自主防災のすばらしい見本」と消防署から高く評価されました。

